

ボブスレー 石井和男監督 上

ソリ改良に「工学研究会」結成 ドイツ製600万円

そのソリは存在を忘れられていたかのように、重量4人乗りのソリを探そう

1月、石井監督はパンク4人乗りのソリを改良して戻おうと決めた。

トリノ五輪まで日本代表

に出向いた。日に留まつたの

は、98年の長野五輪前に日本

代表が購入した古いソリ。白いボディーはホコリで灰色に変色していた。劣化している部分もあつた

化している部分もあつた

り。長いボデーはホコリで重量4人乗りのソリを探そう

と、長野市にあるボブスレーの競技施設スパイラルに



「水上のF1」と呼ばれるボブスレーだが、これまではほとんどソリのメンテナンスをしたことがなかつた。選手のチームワークもバラバラ。「このままでは日本のボブスレーは終わってしまう」。そんな思いを胸にトリノ五輪後、石井和男氏(34)が日本代表監督に就任。10年パンク一バー五輪に向かって行動を起こしてきた。

# 男子でもトップしかも女子でもトップしかも3回転半ジャンプを跳ぶ

**女子は3人だけ** **ヤンブ**これまで女子の国際大会で、3回転半からのコンビネーションジャンプに成功したのは浅田(伊藤みゆり)、ハーティング(米国)の3選手だけ。未来の浅田も含め、全員が後半ジャンプは2回転止まりだった。3回転半十回転なら女子では史上初。また基礎点は3回転半+2回転トーループの9.5点に対し、3回転半十回転トーループは12.2へ7.7点上がる。

**ソチへ4回転も** ○…浅田が14年ソチ五輪をにのみ、4回転トーループに試すことになる。今は自ら練習をしていることも判明した。タラソワ・コチは「パンク一バー五輪の後

「たまに気分転換でソチへ4回転も」 **ヤンブ**これまで女子の3回転半の連続ジャンプに成功していない。4回転ジャンプの練習を開始したことを見た。浅田も「(単発の)3回転トーループは余裕でできているので、たまに気分転換でやっています」と話した。

【高田文太】

◆ボブスレー工学研究会の主なメンバー◆※敬称略。代表取締役役割

名前	肩書
東石井幡田安河田川河内切田千葉谷口井昭雄勝彦勝邦徳彦勝邦彦良晴由智和智也	大名監修教授元NOK会員教員助教代表教授授業教員代表教師代表者日本代表監督

物理學 航空學の学者ズラリ 格安メンテ



ヨナはSP007  
○…ライバルの金妍兒はこの日、パンク一バー冬五輪シヨートプログラムの音楽を演奏した。(S-P)はジェームズ・ボン

3年費用150万円  
ボブスレーに関する専門知識を紹介され、ソリの開発に取り組む「ボブスレー工学研究会」が結成された。研究会が組まれた手始めに改良した男子2人乗りのソリは、別途に生産された。重心の位置を変え、後部の羽根も「これが変わった。車の位置と基底のサイトを見つけた。メールで連絡すると、工学や航空学などの専門家

い」と言う。ソリは専門家の研究意欲を刺激した。  
約3年かけて改良した2人乗りのソリのノウハウを使い、パンク一バー五輪に向け、4人乗り用を改造中。6月から鶴見市にある金属加工業の工場で、8月末の完成を目指している。  
石井監督がかつて自家用車を改造した縁で、ソリの整備を格安で依頼した。この3年間で改良を要したのは150万円。本来ならもう費用はかかっている。いろいろな人に感謝している。寄せられた人々の汗と知恵の結晶が、ソリに注ぎ込まれている。【佐藤竜太郎】

感動した。1勝の瞬間に金賞を獲得した。岡本綾子(右)にあいさつする宮里藍(撮影・水谷宏幸)